

DATA in 九州

九州の身近なデータを
ワンポイント解説する
コーナーです。

今月の注目データ

今月は「桜の開花日」と「肉用牛の畜産農家数」です。



桜の開花日

検索



肉用牛の畜産農家数

検索



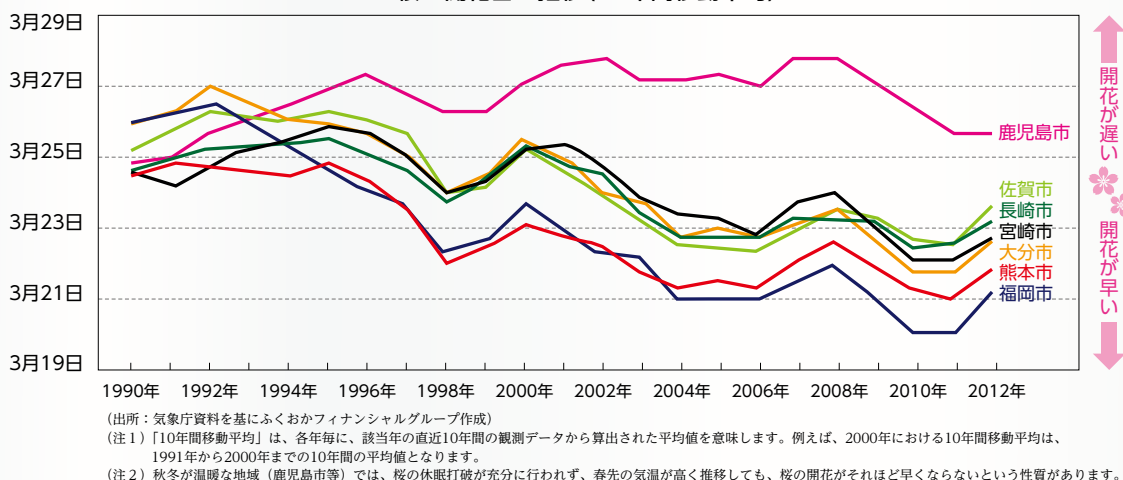


桜の開花日

桜は春を象徴する花として、古くから日本人に愛されてきました。九州では3月下旬に一齐に開花が始まり、4月上旬には満開となります。桜の開花の仕組みはやや複雑です。桜は、前年の夏頃に花芽（翌春咲く花のもと）を形成し、暖かい時期に休眠状態に入ります。そして、秋から冬の低温の時期に休眠状態から目覚めます（『休眠打破』と呼ばれる）。その後、桜の花は、春先の気温の上昇とともに花芽が発育し開花します。

過去約20年間の統計を見ると、温暖化による春先の気温上昇の影響で、九州でも桜の開花時期は早まる傾向にあります。今年（2013年）、福岡市では観測史上最も早く開花しました。気候の変化に素直に反応する桜は、今年も季節の鏡として春の訪れを映し出します。

桜の開花日の推移（10年間移動平均）

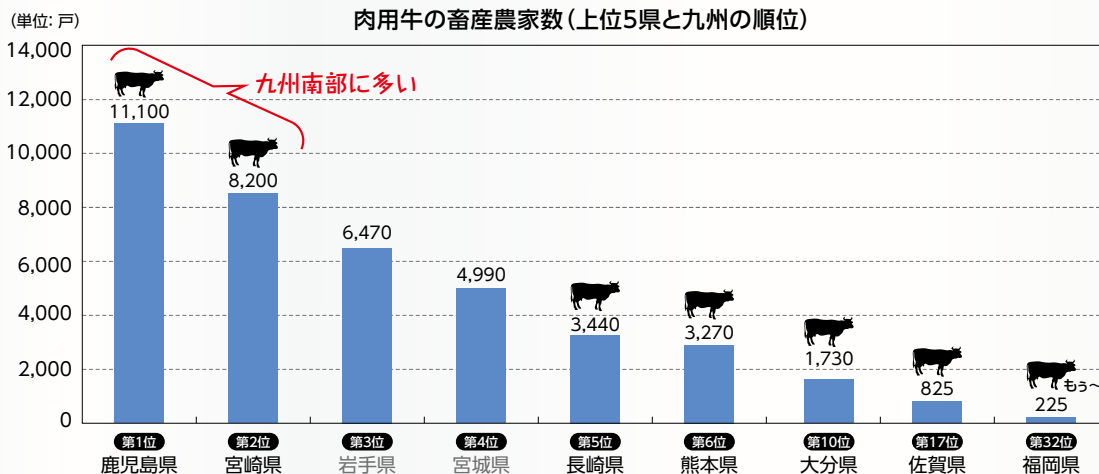


肉用牛の畜産農家数

九州は畜産王国として知られています。「肉用牛の畜産農家数」を全国の都道府県別にみると、鹿児島県が11,100戸で1位、宮崎県が8,200戸で2位と、九州南部で特に多く、5位に長崎県、6位に熊本県と九州各県が続いています。九州南部は、シラス台地（火山噴出物が堆積した台地）が広がり稲作に適さなかったことや、そこで栽培されるさつまいもや芋焼酎の搾りかすを混ぜ合わせた飼料が上質な肉質の家畜肥育に適していること等から、畜産が盛んになったと言われています。

近年は和牛のブランド化が進み、海外への輸出も積極的に行われています。今後は、海外でも九州発の美味しい牛肉に対する需要の増加が期待されます。

肉用牛の畜産農家数（上位5県と九州の順位）



福岡県の最近の経済動向

福岡県の景気 | 総じて横ばいで推移している

生産活動は、化学や一般機械が上昇する一方で、中国向け自動車輸出の落ち込みの影響で輸送機械が低下する等、概ね横這いの中、一部に弱さも見られます。

大型小売店販売額は、昨年11月の冬物衣料の需要先食いの影響が残りましたが、好調だった前年並みの水準は維持しました。住宅建設は全体では前年を下回ったものの、消費税増税を意識した着工により好調を維持しています。

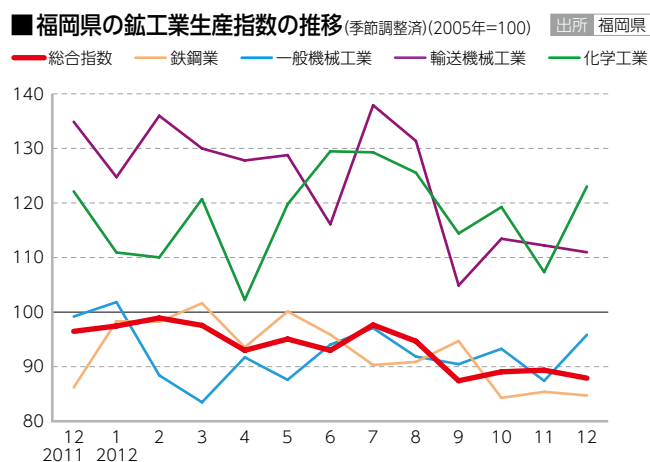
福岡県の景気は、堅調な住宅建設等、一部に明るさ見えるものの、総じて横ばいで推移しています。

(田中 義一)

1.生産活動 | 概ね横ばいの中、一部に弱さも見られる

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は前月比1.5%低下の88.0となり、2ヵ月ぶりに低下しました。

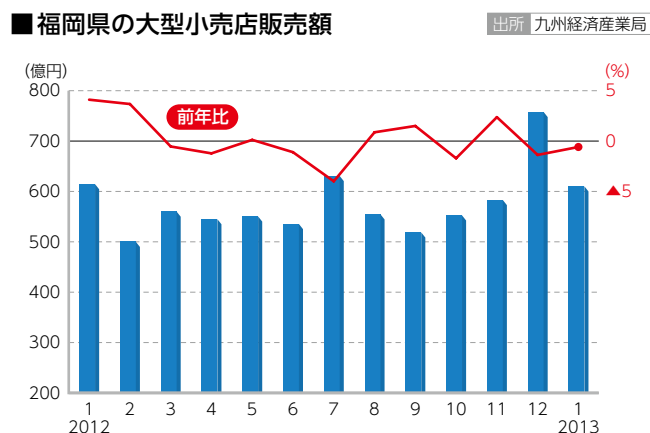
主要業種では、医薬品が好調な化学、半導体製造装置等が増産となった一般機械が上昇した一方、中国向け自動車輸出の落ち込みの影響で、輸送機械が2ヵ月連続で低下する等、一部に弱さも見られます。



2.大型小売店 | 好調だった前年並みの水準は維持

1月の大型小売店販売額は、前年同月比0.6%減の610億円となりました。

主力の衣料品で昨年11月の冬物衣料の需要先食いの影響が残りましたが、新博多駅ビルの開業効果の継続等で好調だった前年同月並みの水準は維持しています。



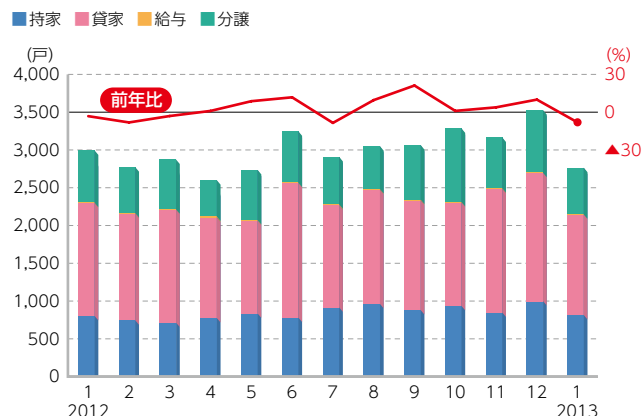
3.住宅建設 | 着工戸数増加に向けた動きは継続

1月の新設住宅着工戸数は、2,756戸と前年同月比7.7%減少し、6ヵ月ぶりに前年を下回りました。

消費税増税を意識した駆け込み需要により「持家」が好調だった一方、マンションの着工が減少した「分譲」や「貸家」は前年を下回りました。なお、住宅着工の先行指標である建築確認申請件数は、戸建の申請件数が前年を上回る水準で推移しており、着工戸数増加に向けた動きは継続しています。

■福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



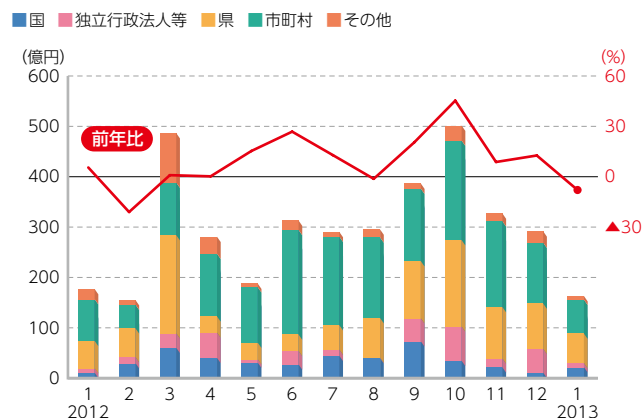
4.公共工事 | 年初は、回復の動きが一服

1月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比7.6%減の623件、金額は同8.0%減の163億円となり、請負金額は5ヵ月ぶりに前年を下回り、前月まで続いた回復の動きは一服しました。

発注者別では、大型案件が少なく「市町村」「その他」が大きく減少し、全体でも前年を下回りました。

■福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



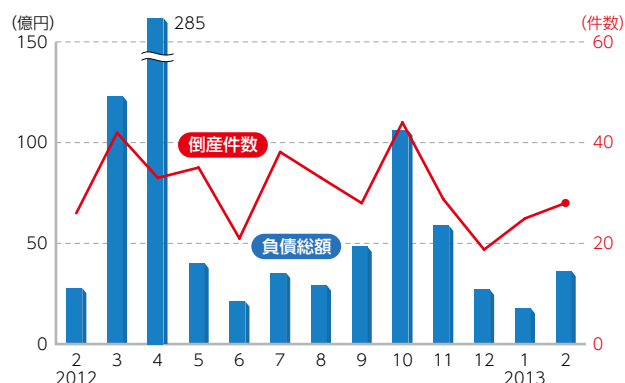
5.企業倒産 | 歯科診療経営、建設業等で倒産が発生

2月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比7.7%増の28件、負債総額が同30.2%増の36億円となりました。

歯科診療所を経営する医療法人において約7億円の大型倒産が発生した他、サービス業や建設業等で1億円以上の倒産が8件発生しました。

■福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



熊本県の最近の経済動向

熊本県の景気 | 総じて横ばいで推移している

生産活動は、一般機械が上昇したものの、電子部品・デバイスが低下する等、概ね横這いの中、一部に弱さも見られます。

大型小売店販売額は、飲食料品が好調だった他、衣料品も前年並みの水準を維持する等、底堅く推移しています。住宅建設は消費税増税を意識した着工により好調を維持しています。

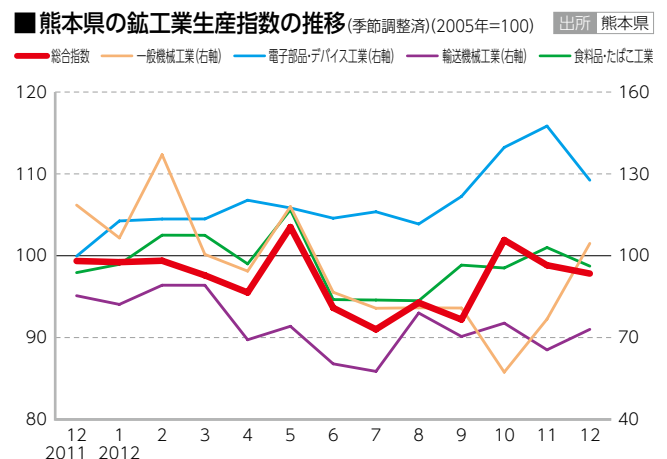
熊本県の景気は、堅調な住宅建設や公共工事等、一部に明るさは見えるものの、総じて横ばいで推移しています。

(田中 義一)

1.生産活動 | 概ね横ばいの中、一部に弱さも見られる

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は97.7となり、前月比0.9%低下しました。

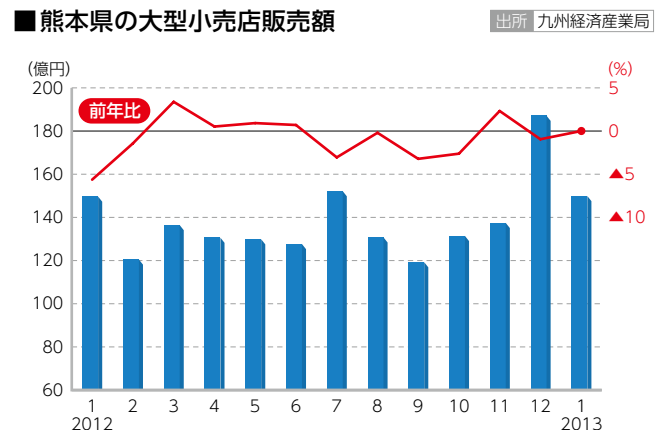
業種別では、半導体製造装置の生産に持ち直しの動きが見られる一般機械が上昇した一方で、スマートフォン向け集積回路の生産が鈍化した電子部品・デバイス、ビール等の飲料が減産となった食料品・たばこが低下する等、一部に弱さも見られます。



2.大型小売店 | 底堅く推移している

1月の大型小売店販売額は、前年とほぼ同水準の150億円となりました。

主力の飲食料品は好調だった他、衣料品も前年並みの水準を維持する等、消費は底堅く推移しています。





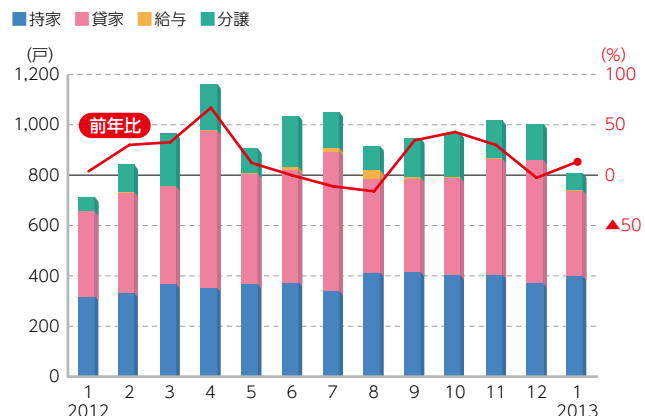
3.住宅建設 | 好調を維持している

1月の新設住宅着工戸数は、808戸と前年同月比13.3%増加し、2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

「貸家」が前年を小幅に上回った他、「持家」「分譲（戸建）」が消費税増税を意識した駆け込み需要により、住宅建設は好調を維持しています。

■熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



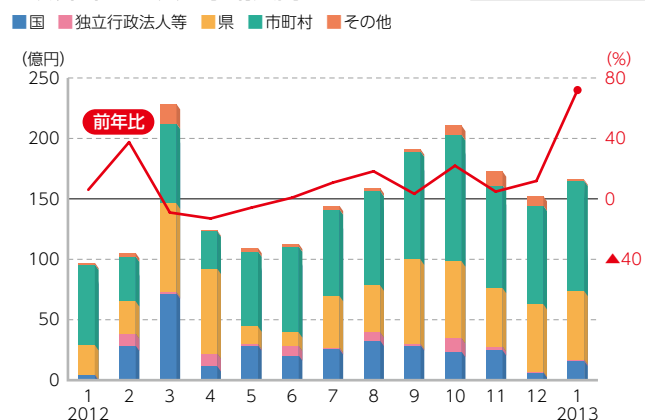
4.公共工事 | 大型案件により、前年を大幅に上回る

1月の公共工事保証請負状況は、件数は726件で前年同月比39.1%増加し、金額は166億円で同71.1%増と前年を大幅に上回りました

発注者別では、道路工事等の大型案件があった「国」「県」が大幅に増加した他、病院建設工事があった「市町村」も前年を上回りました。

■熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



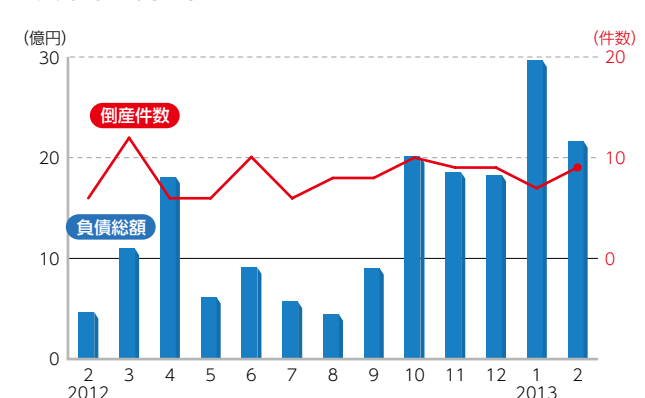
5.企業倒産 | ホテル業で大型倒産が発生

2月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が前年同月比50.0%増の9件、負債総額が同約5倍の22億円となりました。

ホテル業で販売不振を原因として11億円の倒産が発生した他、不動産業等で1億円以上の倒産が3件発生し、負債総額、件数ともに前年を上回りました。

■熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



長崎県の最近の経済動向

長崎県の景気 | 緩やかながらも、持ち直しの動きが見られる

生産活動は、前月まで急速に落ち込んでいた新造船の生産が増加する等、持ち直しの兆しが見られます。

大型小売店販売額は、大型スーパーの開業効果もあり、前年を上回りました。住宅建設は前年を下回ったものの、着工戸数増加に向けた動きが見られます。

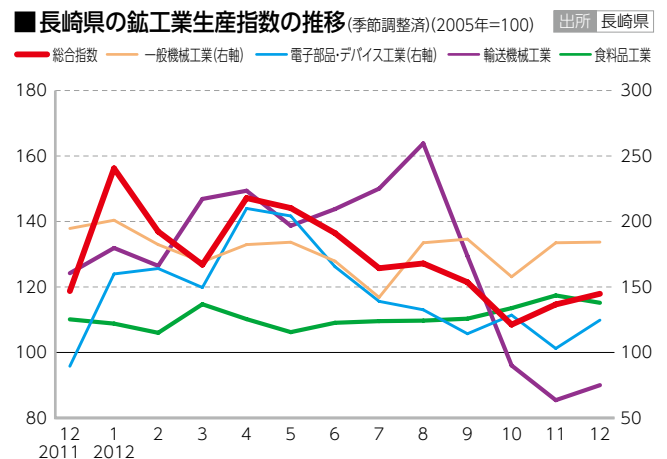
長崎県の景気は、総じて緩やかながらも、持ち直しの動きが見られます。

(田中 義一)

1.生産活動 | 持ち直しの兆しが見られる

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は前月比2.4%上昇の117.6となり、2ヵ月連続で上昇しました。

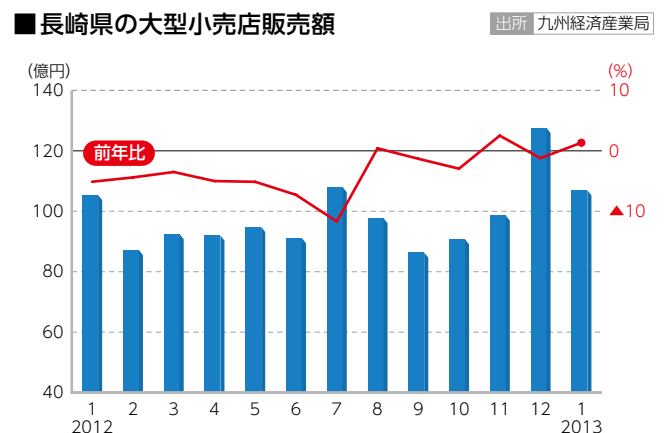
主要業種では、半導体集積回路が増産となった電子部品・デバイスその他、新造船の生産が増加した輸送機械が持ち直し、上昇しました。



2.大型小売店 | 相次ぐ大型店開業で、前年を上回る

1月の大型小売店販売額は、前年同月比1.3%増の107億円と、2ヵ月ぶりに前年を上回りました。

衣料品は前年を下回ったものの、昨年末から大型スーパーが相次いで開店した効果により、主力の飲食料品が好調で、前年を上回りました。





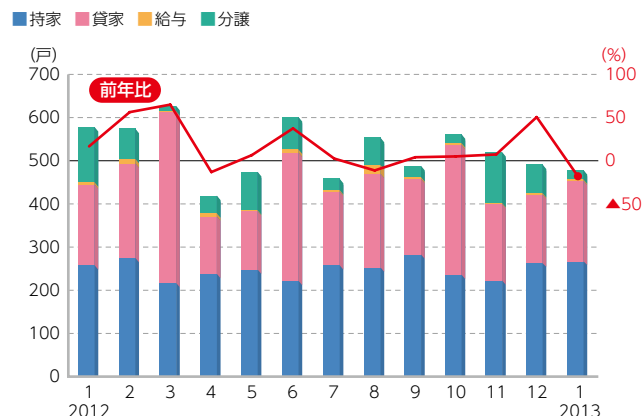
3.住宅建設 | 着工戸数増加に向けた動きは継続

1月の新設住宅着工戸数は、478戸と前年同月比17.3%減少し、5ヵ月ぶりに前年を下回りました。

「持家」は前年を上回ったものの、「分譲」は、前年同月にあったマンション着工が今月はなく大幅に落ち込み、全体でも前年を下回りました。なお、住宅着工の先行指標である建築確認申請件数は、戸建の申請件数が前年を上回る水準で推移しており、着工戸数増加に向けた動きは継続しています。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



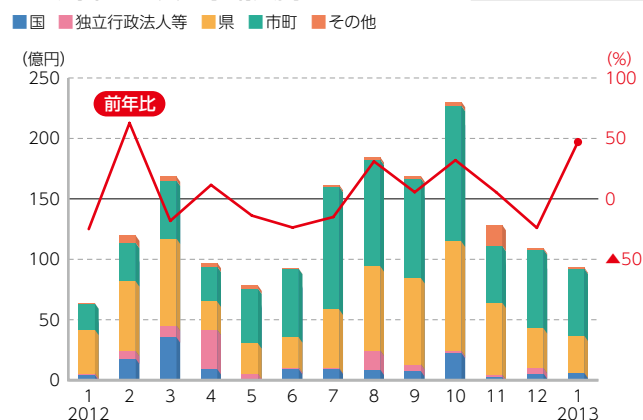
4.公共工事 | 大型案件により、前年を大幅に上回る

1月の公共工事保証請負状況は、件数は321件で前年同月比3.0%減少し、金額は93億円で同46.4%増と前年を大幅に上回りました。

発注者別では、「独立行政法人」「県」が前年を下回った一方で、学校の建築工事等の大型案件があった「市町」や「国」が前年を上回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



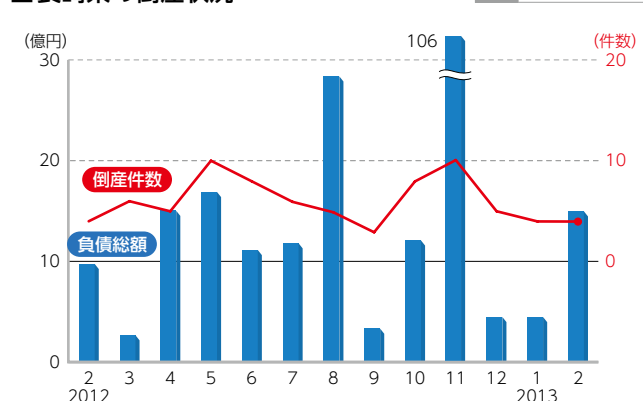
5.企業倒産 | 産業廃棄物処理業で大型倒産が発生

2月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月と同じ4件、負債総額が前年同月比53.2%増の約15億円となりました。

産業廃棄物処理業で販売不振を原因として13億円の倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



佐賀県の最近の経済動向

佐賀県の景気 | 総じて横ばいで推移している

生産活動は、電子部品・デバイスの好調を主因として総合指数は2ヵ月ぶりに上昇しましたが、13ヵ月連続で100を下回る水準が続いています。

大型小売店販売額は、主力の衣料品、飲食料品ともに前年を下回る等、弱含みで推移する一方で、住宅建設は、前年同月になかったマンション着工等により前年を上回りました。

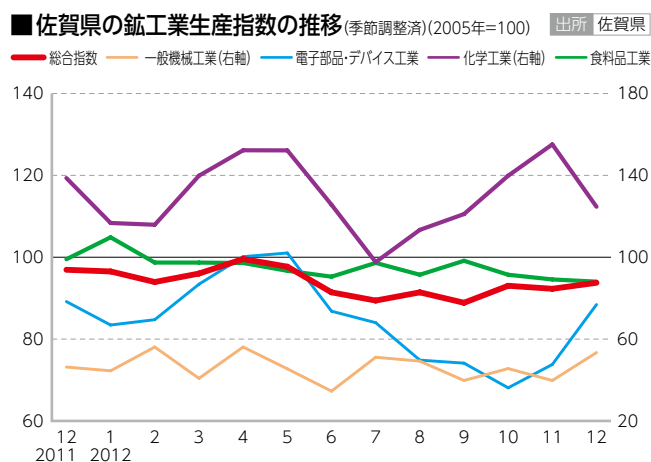
佐賀県の景気は、一部に明るさは見えるものの、総じて横ばいで推移しています。

(田中 義一)

1.生産活動 | 概ね横ばいで推移している

12月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は93.6となり、前月比1.6%上昇しました。

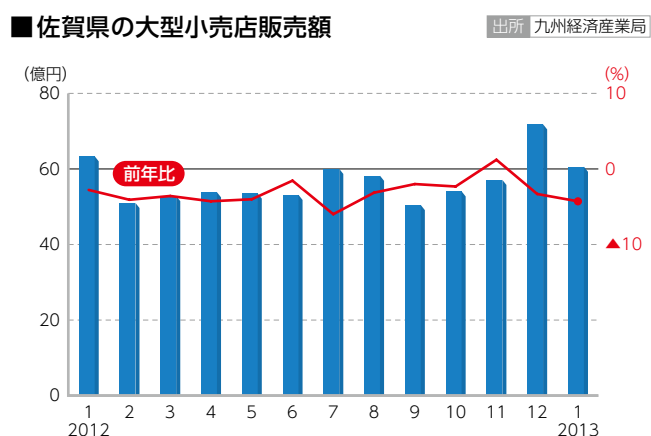
主要業種では、シリコンウェハーの生産が好調な電子部品・デバイス、金属工作機械の増産があった一般機械が上昇した一方、医薬品が減産となった化学が低下する等、生産は概ね横ばいで推移しています。



2.大型小売店 | 弱含みで推移している

1月の大型小売店販売額は、前年同月比4.2%減の61億円と、2ヵ月連続で減少しました。

主力の衣料品、飲食料品ともに前年を下回り、売上は弱含みで推移しています。





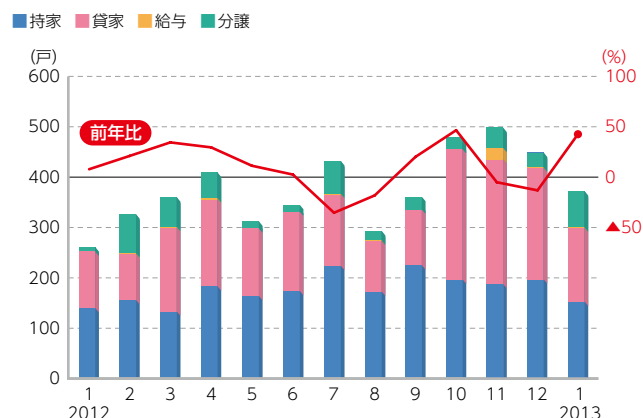
3.住宅建設 | マンション着工により、前年を大幅に上回る

1月の新設住宅着工戸数は、372戸と前年同月比42.5%増加し、3ヵ月ぶりに前年を上回りました。

「分譲」は、前年同月になかったマンション着工があり前年を大幅に上回った他、「持家」「貸家」も消費税増税を意識した駆け込み需要により前年を上回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



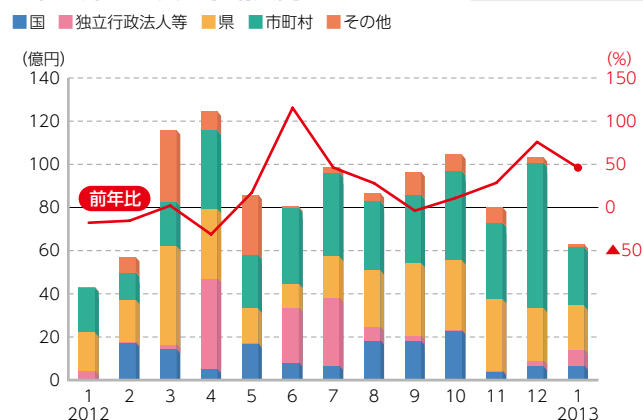
4.公共工事 | 新幹線関連等の大型案件により、前年を大幅に上回る

1月の公共工事保証請負状況は、件数は前年同月比12.2%増の267件、金額は同45.7%増の63億円と大幅に増加し、請負金額は4ヵ月連続で前年を上回りました。

発注者別では、九州新幹線関連の大型案件があった「独立行政法人等」をはじめ、全ての発注者で前年を上回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



5.企業倒産 | 負債総額、件数ともに低水準で推移

2月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比87.5%減の1件、負債総額が同89.7%減の約1億円となりました。

負債総額、件数ともに前年を下回り、低水準で推移しています。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

